



# 第14期中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

サクサ ホールディングス 株式会社

証券コード 6675



代表取締役社長 松尾 直樹

株主の皆様には、平素よりサクサグループに対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、為替や株価の変動など金融市場の動向や中国経済を中心とした世界経済の減速により、景気の先行きは不透明な中で推移いたしました。

このような経済環境の中で、当企業グループは、当事業年度を平成27年度から29年度までの中期経営計画の達成に向けた「成長軌道への回帰」の年と位置づけ「持続成長可能な事業への転換」と「経営基盤の強化」を基本方針として、事業の拡大や経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

「事業の拡大」につきましては、コアコンピタンスである音声と情報通信を融合させたIPネットワーク関連技術とセンシングや映像解析などの新技術を活用したソリューションへの展開を図ってまいりました。

特に集中事業のシステムインテグレーション事業への取り組みとして、企業内の膨大なPC資産と情報セキュ

リティ管理をクラウド環境で提供するソリューション「MCS Global Cloud」(Managed Client Security)サービスの提供を5月から開始いたしました。

また、「Office AGENT」シリーズのラインアップであり、ビジネスに安心をもたらすセキュリティ製品UTM(統合脅威管理アプライアンス)にメールセキュリティ機能を追加したSS3000IIを8月に発売いたしました。

「経営基盤の強化」につきましては、事業の効率化、財務体質の強化、要員の適正化およびコーポレートガバナンスの強化に継続的に取り組み企業価値の最大化に努めてまいりました。

今後も目標とする経営指標の達成に向けて取り組んでまいりますが、アミューズメント市場の環境は厳しく、当期の業績に与える影響は多大であり、売上高および利益につきましては当初の通期業績予想を下回る見込みとなりました。

なお、中期経営目標への影響につきましては、市場動向などを見極め精査中であります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、キーテレホンシステムの増加はありましたが、セキュリティシステムおよび加工受託の受注減少などにより193億1百万円(前年同期比14.2%減)となりました。

利益面では、売上機種構成の変動による利益率の向上や経営改善施策の効果などにより経常利益が4億4千7百万円(前年同期経常損失7千5百万円)、また特別損失の減少などにより親会社株主に帰属する四半期純利益が1億3千6百万円(前年同期純損失5億1千2百万円)となりました。

なお、平成29年3月期の期末配当は、1株あたり5円を予定しております。

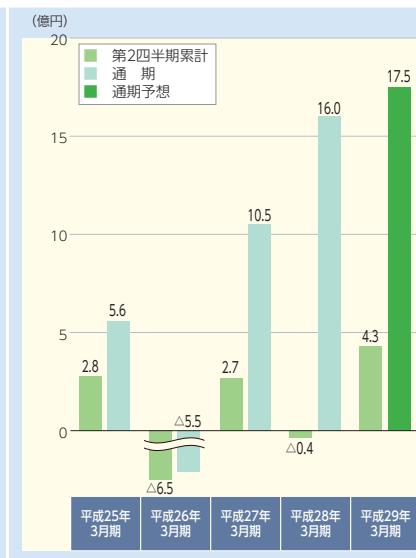
今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

# 連結業績ハイライト

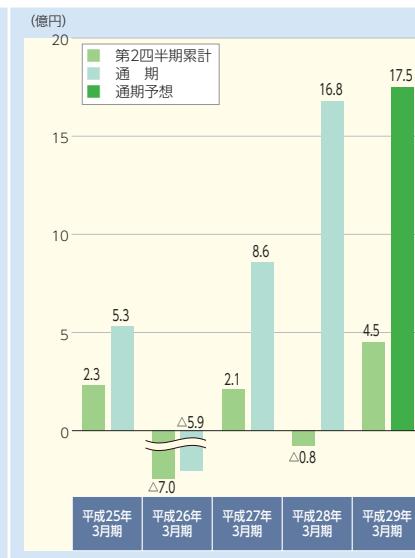
■売上高(左目盛) ●売上高経常利益率(右目盛)



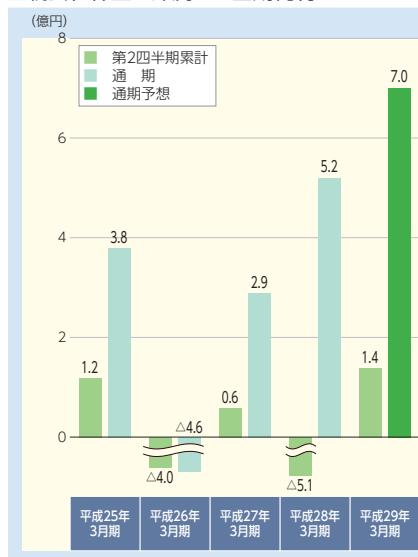
■営業利益



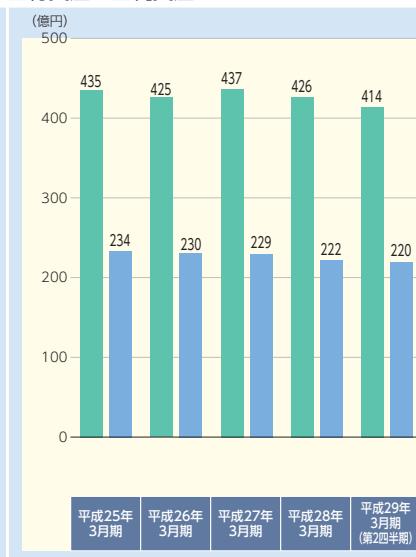
■経常利益



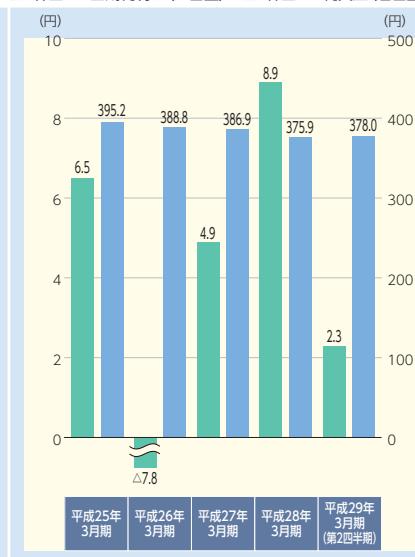
■親会社株主に帰属する当期純利益



■総資産 ■純資産



■1株当たり当期純利益(左目盛) ■1株当たり純資産(右目盛)

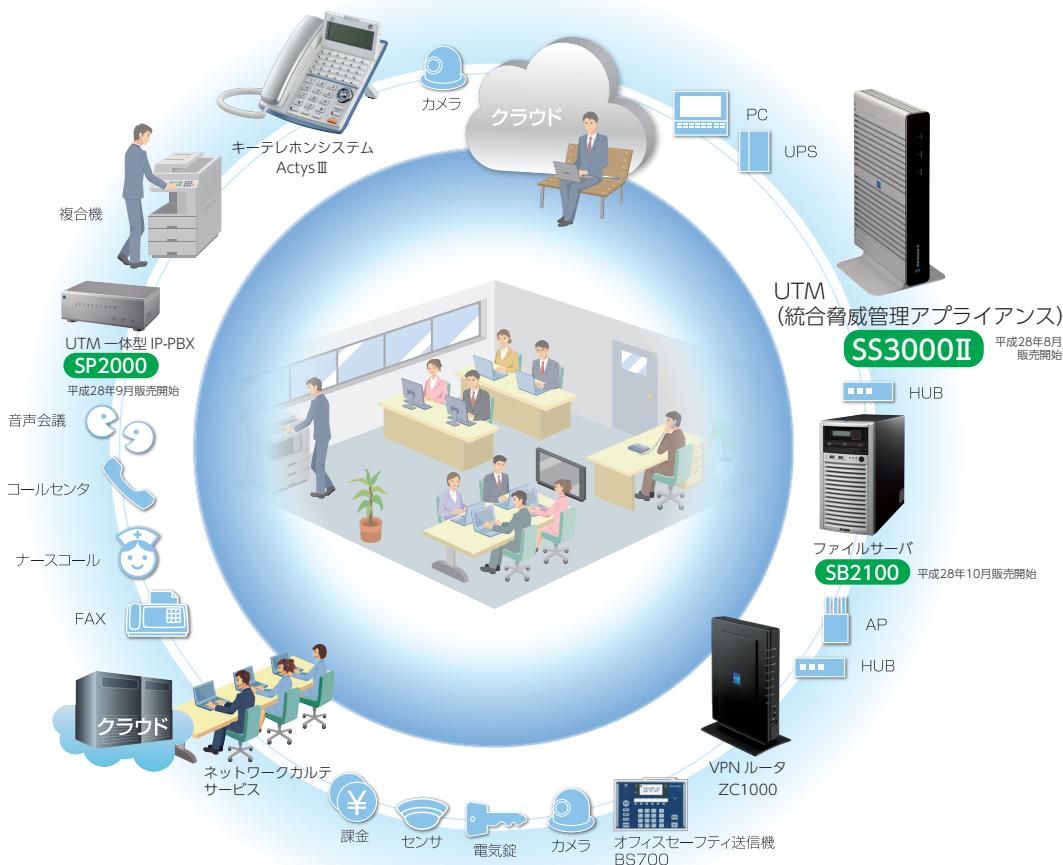


※ グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

## SS3000II UTM(統合脅威管理アプライアンス)

「SS3000II」は、ウイルス感染、スパイウェア、不正侵入およびフィッシングさらにサイバー攻撃等のネットワーク上の脅威に対してリスクを低減させます。また、ソーシャルメディアへのアクセスの禁止やPC作業やUSB利用履歴の把握が可能となる製品です。

「SS3000II」は従来の「SS3000」から添付ファイルを自動暗号化することで、手間をかけずに添付ファイルの漏えいを防ぐメール添付ファイル自動暗号化、ホワイトリスト登録の簡略化、さらにPCの同時接続台数を20%増加させ機能拡充いたしました。



※製品名が白抜きになっている製品は、今年度販売開始した製品です。



## Office AGENT

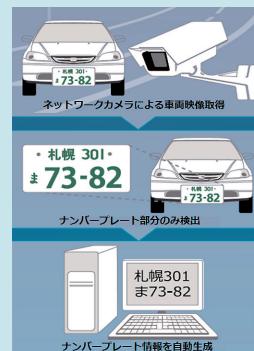
サクサの「Office AGENT」シリーズは、サクサが情報システム部門のない中小規模オフィス向けにご提供する、オフィス運営代理人システムです。サクサのオフィスソリューション提供ノウハウを集結し、ネットワーク商材を連携させることで、お客様の「お困りごと」をスピーディに解決いたします。

## システムインテグレーション事業の拡大への取組み

### ～映像ソリューションへの取組み～

サクサグループの株式会社システム・ケイは、映像ソリューションへの取組みとして車両ナンバー認識システムを提供しております。画像認識技術をベースに、車両を撮影した映像からナンバープレートを検出し、これに含まれる文字および数字を文字データ化するシステムです。

駐車場の入退場管理、悪質車両の検知、場内誘導の自動化、工事現場の車両管理、車両統計分析などセキュリティ用途のみならず、マーケティング、管理、調査にも活用いただいております。



### ～必要な支援物資が一目瞭然、被災地の声を収集～

#### ソーシャルネットワーキングサービスを活用したサービス「現地のこえ」を提供

サクサグループのサクサ株式会社および株式会社マイスターは、熊本地震の被災地を支援する人々のために、ソーシャルネットワーキングサービスを活用したサービス、「現地のこえ」をWeb上に無償で公開、提供いたしました。

「現地のこえ」は、困っている被災者や要望のある人、情報を発信したい人が、避難所や自宅周辺などで、必要な支援内容などを「ツイッター」につぶやき、その情報を自動収集し、Webの地図と結びつけるサービスです。

今後も、このようなサービスを通じてサクサグループは、被災地支援活動に取組んでまいります。

### ～「情報セキュリティEXPO春」および「ITpro EXPO2016」に出展～

サクサグループは、東京ビッグサイトにおいて平成28年5月に開催された「情報セキュリティEXPO春」および平成28年10月に開催された「ITpro EXPO2016」に出展いたしました。内部脅威による情報漏えい対策に必要な機能が全て実装されたエンドポイント情報セキュリティ「MCSグローバルクラウドサービス」を始めとした情報セキュリティソリューションを多くの方に紹介いたしました。



ITpro EXPO2016の展示ブースの様子

# 四半期連結財務諸表(要約)

## ●四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成28年3月期)	当第2四半期末 (平成29年3月期)
(資産の部)		
流動資産	25,231	24,857
固定資産	17,355	16,520
有形固定資産	9,688	9,569
無形固定資産	3,035	2,770
投資その他の資産	4,631	4,180
繰延資産	10	6
資産合計	42,597	41,384
(負債の部)		
流動負債	11,908	11,575
固定負債	8,457	7,762
負債合計	20,365	19,337
(純資産の部)		
株主資本	21,705	21,665
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,023	6,023
利益剰余金	6,023	5,983
自己株式	△1,177	△1,178
その他の包括利益累計額	371	225
非支配株主持分	155	155
純資産合計	22,232	22,046
負債純資産合計	42,597	41,384

## ●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 (平成28年3月期)	当第2四半期累計 (平成29年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	152	2,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△867	△693
財務活動によるキャッシュ・フロー	824	△875
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	109	1,379
現金及び現金同等物の期首残高	6,270	7,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,379	8,585

※P5に記載の数値については、表示単位未満を切り捨てております。

## ●四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

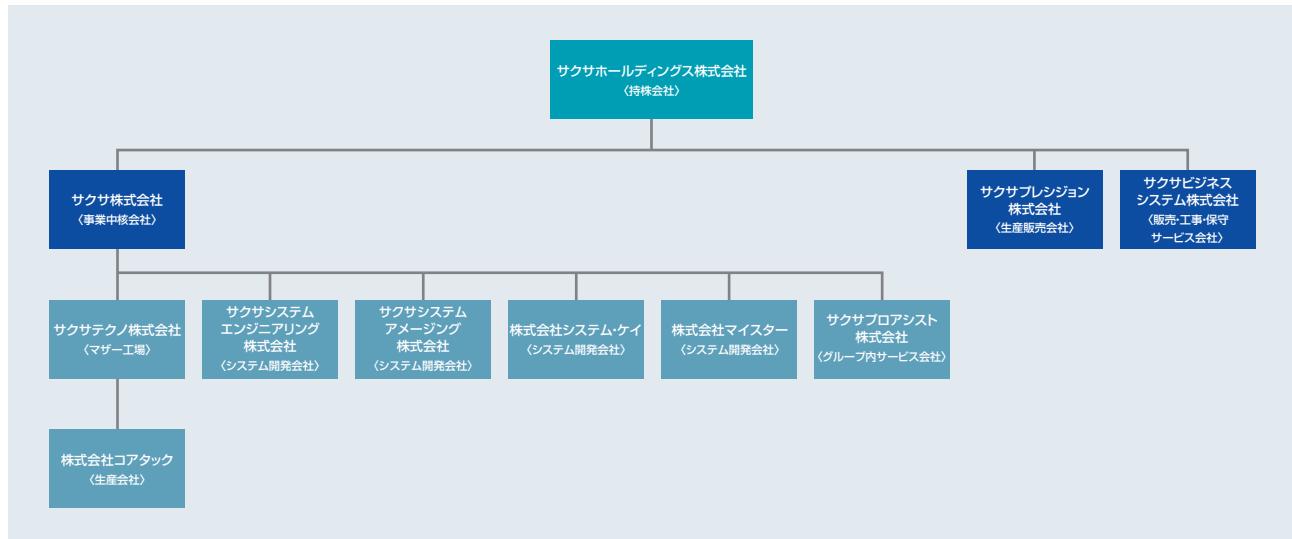
科目	前第2四半期累計 (平成28年3月期)	当第2四半期累計 (平成29年3月期)
売上高	22,495	19,301
売上原価	18,356	14,523
売上総利益	4,139	4,778
販売費及び一般管理費	4,180	4,347
営業利益又は営業損失(△)	△40	431
営業外収益	116	107
営業外費用	151	91
経常利益又は経常損失(△)	△75	447
特別利益	400	0
特別損失	951	143
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△626	304
法人税等	△117	162
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△509	142
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△512	136

## ●四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 (平成28年3月期)	当第2四半期累計 (平成29年3月期)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△509	142
その他の包括利益	△555	△145
四半期包括利益	△1,065	△3

■ サクサグループ (11社)



● サクサ ホールディングス株式会社

設立年月日 平成16年2月2日

資本金 10,836,678,400円

従業員数 1,123名(連結)、46名(単独)

本社 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー

事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

取締役および監査役

代表取締役社長	松尾 直樹	取締役	中村 耕児	常勤監査役	江藤 進
専務取締役	鈴木 譲	取締役	井上 洋一	監査役	羽鳥 勝彦
常務取締役	磯野 文久	取締役	布施 雅嗣	監査役	飯森 賢二
取締役	木村 廣志	取締役	小口 喜美夫	監査役	清水 建成
取締役	大坂 貢	取締役	山本 秀男		

※1. 布施雅嗣、小口喜美夫および山本秀男の3氏は、社外取締役であります。また、小口喜美夫および山本秀男の両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。  
 ※2. 飯森賢二および清水建成の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

## 株式の状況

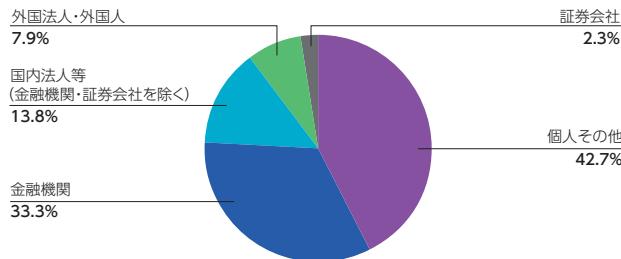
- 発行可能株式総数 ..... 240,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 62,449,621株
- 株主数 ..... 6,928名

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	8,060千株	13.7%
日本電気株式会社	2,360千株	4.0%
株式会社みずほ銀行	2,339千株	4.0%
株式会社三井住友銀行	1,767千株	3.0%
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,672千株	2.8%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,019千株	1.7%
株式会社三菱東京UFJ銀行	959千株	1.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	912千株	1.6%
サクサグループ従業員持株会	904千株	1.5%
みずほ信託銀行株式会社	900千株	1.5%

- ※1. 当社は、自己株式3,714千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- ※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
- ※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式6,059千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,778千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※5. 持株数については、表示単位未満を切り捨て、持株比率については、表示単位未満を四捨五入しております。

## 所有者別分布状況



※ 所有者別分布状況に記載の数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	http://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
郵便物送付先	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 みずほ銀行	本店および全国各支店 本店および全国各支店
ご注意	お取引の証券会社等になります。 みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店  支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。  特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。	